小学校 総合的な学習の時間

たったひとつの正倉院(第5学年)

奈良市立富雄第三小中学校 河野晋也

1. ESD を生かした授業づくり

(1) 単元名・学校種と学年

「たったひとつの正倉」小学校第5学年

(2) 単元の概要

正倉院宝物の一つ、白瑠璃碗とイランの出土品である同形同年代のペルシャガラスを比較することで、正倉院宝物の保存性の高さに気づかせる。「なぜ正倉院宝物はきれいなまま残すことができたのだろう」という学習問題について、児童それぞれが疑問を解決するために調べることを設定し、書籍やインターネット、正倉院事務所の方の聞き取り調査を行う。それぞれの考えを持った状態で、学級全体で意見を出し合い問題を解決するとともに、大切な正倉院宝物であるにもかかわらず、また歴史の中では公開後に盗難が起きていること、公開された文化財が傷ついている状況に気づかせ、「なぜあえて公開するのか」という問いについて、自分なりの考えを交流し合う時間をとりたい。

(3) ESD の視点の明確化

本来の世界遺産登録の目的は、「文化財の保護・保全」であるが、現在はその経済効果から「世界遺産=観光地」というとらえ方も少なくない。事実、2017年の国内推薦候補に決定した宗像市にたくさんの人が訪れた。今まで「禁忌の島」として限られた人の手によって保全されてきた宗像の遺産も、多くの人の関心を集めることで新しい保存のあり方が求められることになるだろう。

保存のあり方に注目すると、奈良の文化財の特徴の一つが、自然に残ったのではなく、人の意志と手により受け継がれてきたという点にあることに気付く。例えば正倉院の宝物も地中から発掘された出土品ではなく非常に保存状態のよい伝世品である。倉庫に保存されていたおかげでその輝きが保たれたといえる。しかし人の手にゆだねられている以上火災や盗難といった危険に常にさらされてきたともいえる。事実、複数あったはずの正倉は現存する一つを除いて全て消失しているし、伝世品としてここまで保存状態が良い物は世界的に珍しい。その危険をくぐり抜けて、時代が移っても人の手によって心をつなぎながら大切に守られてきたのが今残る宝物たちである。こうした保存方法に目を向けると、広く人に知らせることは確かに危険を増やすし、事実一部の心無い人によって遺産が傷つけられることもあった。しかし、この「継ぎ手」という役割や意思を多くの人に伝えること、より多くの人に受け継いでもらうために認知度を挙げることが世界遺産登録の目的の一つと考えられるだろう。

この学習を通して、奈良の遺産を他人事ではなく『自分ごと』としてとらえ、これからの受け継ぎ方を考えさせたい。本校の児童にとって世界遺産・古都奈良の文化財は身近な存在とは言えないが、実際に見学をし、またガイドの方から話を聞かせていただくことで、保全に関わってきた人々の思いにふれ、「観光者」「現地市民」の複数の視点を持って文化財の価値を捉えなおすことができると考えている。

2.ESD の視点を生かした授業の実践

- (1) 単元の目標(重視する能力・態度)
- ・正倉院に関心をもち、価値ある文化遺産も危機遺産にもなりうることを知り、正倉院を保全していくために 市民としてやるべきことに気づく。 《参加》(関心・意欲・態度)
- ・観光地として多くの人の手にふれることのなり破壊されたり傷つけられたりする可能性があるにもかかわらず、 広く人に知らせることで保全しようとする理由について考える。 《批判/未来》(思考・判断・表現)
- ・正倉院宝物が美しく保全されている原因について、正倉院事務所の方や本を参考にして調べ自分なりの考えを 持つことが出きる。 (技能)
- ・正倉院宝物が、正倉院の仕組みや唐櫃、立地条件や、人々の努力によって保全されてきたことに気づく。

(知識・理解)

(2) 評価規準

関心・意欲・態度(参加)	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	(批判/未来)		
・正倉院に関心をもち、正	・観光地として多くの人の	・正倉院宝物が美しく保全	正倉院宝物が、正倉院の仕
倉院宝物を保存する上で	手にふれることのなり破	されている原因について、	組みや唐櫃、立地条件や、
の危機について関心を持	壊されたり傷つけられた	正倉院事務所の方や本を	人々の努力によって保全
つ。(ア①)	りする可能性があること	参考にして調べている。	されてきたことに気づく。
・文化遺産を保全していく	に気づく。(イ①)	(ウ①)	(I)
ために市民としてやるべ	広く人に知らせることで	調べたことをタブレット	
きことに気づく。(ア②)	保全しようとする理由に	端末を効果的に使いなが	
	ついて考える。(イ②)	らまとめている。(ウ②)	

(3) 展開の概要

第 3 次	学習活動 ○正倉院宝物を見てみよう。① ・正倉院を見学して発見したことやボランティアガイドの方の話を思い出しながら、正倉院について知っていることを話し合う。 ・毎年正倉院展には多くの人が足を運ぶことを伝え、「奇跡の正倉院」と呼ばれる所以について考え、意見を交流する。 ・『白瑠璃碗』(正倉院)と『切子碗』(イ	たって大切に保管されてきた宝庫であることを確認する。 ・現代でも多くの人が正倉院宝物に関心をも	ア①
	ラン)を見比べ、学習問題をつくる。 なぜ正倉院の宝物は、きれいな	ことに気づかせ、発見される前に盗掘されたり壊れたりしていることがほとんどであることを伝える。	

ウ(1)

ウ(2)

○学習問題の解決のために調べたいことを出 し合う。①

- ・調べたいことを出し合い、整理する。
- それぞれが自分の調べるテーマについて、 調べる方法を考える。

・似たテーマを考えた児童には、情報を交換 していくことを勧める。

○自身のテーマについて調べよう①

第

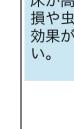
次

- ・地域の図書館や学校の図書館の本、インタ ーネット等を活用し、自身のテーマについ て調べる。③
- ・調べたことをタブレット端末に書き出し、 互いが調べたことを共有する。①
- ・共有したことをもとに学習問題について、 予想をたて、交流する。
- ・調べ学習で解決しきれなかったことや新た な疑問を書き出し、正倉院事務所の方に教 えていただきたいことを整理する。①

・他のテーマでも活用できると思った情報は 、その都度互いに声をかけあい、共有でき るように伝える。

- ・タブレット端末のアプリを活用して、児童 の画面を大型テレビに映し、質問し合うこ とで共有化をする。
- ・調べたことを根拠として明確に示させる。
- ・情報が不明確なものや、見つけられなかっ たものなどを出し合い、まとめる。

床が高いのは、湿 損や虫食い防止に 効果があるらし い。



3年生との交流学習

《三年生との交流学習》

総合なら科の学習において、どのように調べるテーマを設定し、どのように調べ学 習を進めていったのかを三年生に説明する。正倉院について調べてわかったことも 合わせて話し、質問をもらうことで新しい視点を得る。

調べたことをまとめたタブレットの画面

〇正倉院事務所の方にきいてみよう②

- ・正倉院の歴史や、宝物に携わる人々の働き についての話を聞く。
- 宝物のレプリカを見せていただく。
- ・聞き取りによって解決したことを確認し、 再度学習問題について自分の考えを書く。
- ・前時でまとめた質問内容を中心に聞き取り をさせ、必要があれば質問をするようすすめ る。
- ・タブレット端末に集約した情報を再度整理 しなおし、根拠を明確にさせる。

○学習問題について意見を交流する①

・前時にまとめた自分の考えを出し合い、交流・根拠を明確に する。

して話すよう助言 する。

イ(1)

ウ(1)

工(1)

第 5 次

・大衆の目にふれることで危機が増えることに 着目させ、それでも公開する意味を考える。

見てもらうことで守ら なきゃ!って思っても らうためじゃないかな。

「楽しむことが守 ること」につながる んじゃないかな。

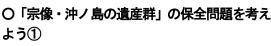
シルクロードを渡って きた宝物だから、奈良 だけのものにしちゃい けないんだよ。

・4回の盗難事件が大衆の 目に触れた後におきている 事実や、一般の人が自由に 入れる東大寺の柱に落書き があることを知らせる。

・本来価値がある1200年前 の東大寺の瓦が散乱してい

ることを知らせ、多くの人がその価値を知る ことの重要性に気づかせる。

・見捨てられたものではなく、受け継がれた ものを見ることで、人の感じ方が大きく変わ ることに気づかせる。



・世界遺産推薦決定された宗像市の沖ノ島につ いて、今後の保存の在り方について考える。

・沖ノ島が「海の正倉院」と 呼ばれる所以について説明し 、多くの人に知られることで

島の保全ができなくなる危険を感じている 人がいることを伝える。



東大寺周辺に散乱 している大昔の瓦

ア(2)

○富雄第三の祭りの歴史①

・校区の歴史を振り返り、町ができてから今 まで続いているものを探させる。

・夏祭り実行委員青年団の方の話から、校区 の祭りに込められた地域の人の思いを考え る。

・校区にも、正倉院同様に歴史や携わる人々 の思いを正しく知ることで見方が変わるも のがあることに気づかせる。

・町が造成されたときに「他から転居してき た者同士が仲良くなり、助け合える関係にな るように」という願いを込めて夏祭りが計画 されたことに気づかせる。

ア(2)

第 次

3 学期以降の「たったひとつの正倉」単元の構想図

✓
人
見学に行っ
たときに教
えてもらっ
たね

正倉院宝物を見て、学習問題をつくろう

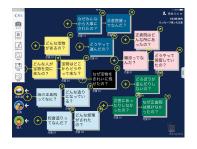
天皇の宝物と かが納められ ているんだよ。

「奇跡の正倉 院」と呼ばれて いるんだって。 土の中から見つかったものと比べる とすごい違い!

なぜ正倉院の宝物は、きれいなまま残ることができたのだろう

どんなことを 調べたらわか、 るだろう。 火事や地震に強かったの?建物について調べて みよう。

曝涼って何だ?宝物を管理することかなぁ。



正倉院について調べよう(テーマ例)

正倉院の造りは?/どうやって保存した?/なぜ災害にまけなかった?/こわれやすい布などはどうやって運んだ?

校倉造に湿気を防ぐ効果はないって 書いてあった!

どっちが ほんと? どんな人が管理 していたのかわ からないなぁ。

正倉院事務所の方にきいてみよう

運ぶ人はすご く緊張するん だろうな。 今では火事 対策もばっ ちりだね。

なぜ正倉院の宝物は、きれいなまま残ることができたのだろう

唐櫃に丁寧に入れたことが腐るのを防いだんじゃないかな。

一つ一つ記録 していたから じゃないかな。 めったに開けないことも、残った 理由だと思うな。

「なぜ宝物を滅」 多に開けなかっ トの?」 (三年生より)



4 回の泥棒は公開 かされた後に入っている。人に知られってることで、宝物に に危険が及ぶことも 考えられる…。

どうして大切な宝物なのに、大切にしまっておかないのだろう

実際にたくさんの人が見に来る東大寺の 柱はすり減って、落書 きもされていたよ。 人に見せることが守ること とどうつなが るんだろう。 本当に残すなら、こっ そり誰にも見せずに おいておいた方がい いんじゃないかなぁ。 「海の正倉院」の 沖ノ島も同じこ とで悩んでいる んだ…。

「価値ある1200年前の、 瓦も、意味を知らない 人からすればただのガ ラクタ。何が転がっているかわからないい。 奈良では不用意に 石にも足をかけられない いんです。」



地域の歴史を見直そう

校区にも本当の意味を 知らないのも まのもかも あるかも れない。

地域の祭りを支えに話といる人におよう。

- 「新興住宅地なので、 転入者同士が仲良く、 協力し合えるように、 □ 交流の場として祭り □ が計画された。」

そんな祭りに私たちは…